

運用報告書 (全体版)

D I A M高格付外債ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2008年10月15日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	D I A M高格付外債ファンド 「国際機関債」および「海外国債等」を実質的な主要投資対象とします。 国際機関債マザーファンド 「国際機関債」を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、国際機関債マザーファンド受益証券を通じて実質的に「AAA格の国際機関債」に、また直接「AAA格の海外国債等」に、それぞれ投資することにより、信用リスクを回避しつつ相対的に高い利回りと為替益の獲得をめざして運用を行います。 国際機関債マザーファンドは、主として新興国通貨建て国際機関債に投資します。これらの債券は新興国の通貨建てで発行されますが、その信用力は当該新興国ではなく発行体である国際機関に依存します。 「国債等」には、国債のほかソブリン債を含みます。 実質的な投資対象である国際機関債および国債は、当初組入時において最高位の信用格付であるAAA格（S & P社）／Aaa格（Moody's社）を取得している（ただし、両社が格付を付与している場合には、どちらか高い方の格付を基準）ものに限り、保有する債券の格付が格下げにより上記基準を満たさなくなった場合は、当該債券を速やかに売却するものとします。 国際機関債マザーファンド受益証券への投資を通じて投資する「AAA格の国際機関債」と、直接投資する「AAA格の海外国債等」の時価金額比率は、おおむね2：1程度とします。 実質的な投資対象通貨数は原則として6～10通貨程度とします。これら投資対象通貨の選定にあたっては、主に中短期的金利水準に着目しますが、流動性、投資通貨規制等も総合的に勘案します。 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月19日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

愛称：トリプルエース

第172期	<決算日	2023年4月19日>
第173期	<決算日	2023年5月19日>
第174期	<決算日	2023年6月19日>
第175期	<決算日	2023年7月19日>
第176期	<決算日	2023年8月21日>
第177期	<決算日	2023年9月19日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I A M高格付外債ファンド」は、2023年9月19日に第177期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

DIAM高格付外債ファンド

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入率 %	債券先物率 %	純資産額 百万円
		(分配落)	税金 分	配 金			
第26作成期	148期(2021年4月19日)	円 3,734	円 20	% △0.8	96.2	—	5,312
	149期(2021年5月19日)	3,767	20	1.4	96.0	—	5,346
	150期(2021年6月21日)	3,705	20	△1.1	95.0	—	5,233
	151期(2021年7月19日)	3,689	20	0.1	94.6	—	5,160
	152期(2021年8月19日)	3,685	20	0.4	94.5	—	5,100
	153期(2021年9月21日)	3,653	20	△0.3	94.6	—	4,998
第27作成期	154期(2021年10月19日)	3,755	20	3.3	94.6	—	5,061
	155期(2021年11月19日)	3,623	20	△3.0	95.2	—	4,782
	156期(2021年12月20日)	3,416	15	△5.3	94.3	—	4,445
	157期(2022年1月19日)	3,517	15	3.4	92.6	—	4,502
	158期(2022年2月21日)	3,568	15	1.9	96.3	—	4,501
	159期(2022年3月22日)	3,620	15	1.9	97.0	—	4,537
第28作成期	160期(2022年4月19日)	3,874	15	7.4	98.0	—	4,780
	161期(2022年5月19日)	3,693	15	△4.3	96.9	—	4,508
	162期(2022年6月20日)	3,804	10	3.3	97.1	—	4,571
	163期(2022年7月19日)	3,798	10	0.1	96.3	—	4,503
	164期(2022年8月19日)	3,795	10	0.2	96.0	—	4,467
	165期(2022年9月20日)	3,947	10	4.3	96.4	—	4,550
第29作成期	166期(2022年10月19日)	3,995	10	1.5	95.8	—	4,572
	167期(2022年11月21日)	3,854	10	△3.3	95.7	—	4,361
	168期(2022年12月19日)	3,755	10	△2.3	95.8	—	4,205
	169期(2023年1月19日)	3,653	10	△2.5	95.2	—	4,058
	170期(2023年2月20日)	3,776	10	3.6	95.4	—	4,169
	171期(2023年3月20日)	3,721	10	△1.2	97.5	—	4,069
第30作成期	172期(2023年4月19日)	3,863	10	4.1	97.1	—	4,209
	173期(2023年5月19日)	3,979	10	3.3	96.9	—	4,296
	174期(2023年6月19日)	4,154	10	4.6	97.1	—	4,416
	175期(2023年7月19日)	4,132	10	△0.3	96.5	—	4,333
	176期(2023年8月21日)	4,202	10	1.9	97.1	—	4,340
	177期(2023年9月19日)	4,251	10	1.4	96.6	—	4,340

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
		円	騰 落 率		
第172期	(期首) 2023年3月20日	3,721	—	97.5	—
	3月末	3,826	2.8	97.6	—
	(期末) 2023年4月19日	3,873	4.1	97.1	—
第173期	(期首) 2023年4月19日	3,863	—	97.1	—
	4月末	3,888	0.6	96.8	—
	(期末) 2023年5月19日	3,989	3.3	96.9	—
第174期	(期首) 2023年5月19日	3,979	—	96.9	—
	5月末	3,994	0.4	97.1	—
	(期末) 2023年6月19日	4,164	4.6	97.1	—
第175期	(期首) 2023年6月19日	4,154	—	97.1	—
	6月末	4,228	1.8	97.5	—
	(期末) 2023年7月19日	4,142	△0.3	96.5	—
第176期	(期首) 2023年7月19日	4,132	—	96.5	—
	7月末	4,177	1.1	97.3	—
	(期末) 2023年8月21日	4,212	1.9	97.1	—
第177期	(期首) 2023年8月21日	4,202	—	97.1	—
	8月末	4,270	1.6	96.8	—
	(期末) 2023年9月19日	4,261	1.4	96.6	—

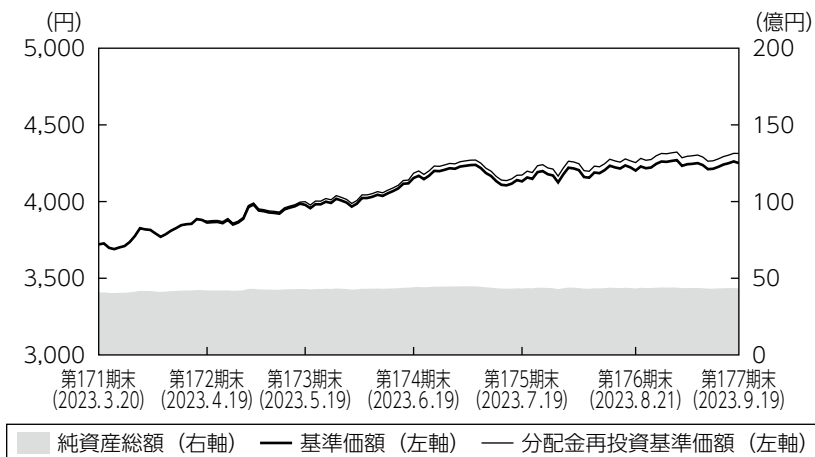
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■第172期～第177期の運用経過（2023年3月21日から2023年9月19日まで）

基準価額等の推移



第172期首： 3,721円
第177期末： 4,251円
(既払分配金60円)
騰落率： 15.9%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。内外の金融政策格差を背景に、主要な先進国・新興国通貨に対する円安が進んだことに加え、高金利通貨建債券の組入れによるインカム収益が基準価額の上昇要因となりました。

投資環境

債券市場では、多くの組入国の国債利回りが上昇（価格は下落）しました。多くの国で中央銀行の目標を上回る高いインフレ状況が続く中、タカ派的な金融政策姿勢が続いたことが主な要因となりました。一方、ブラジルやポーランドなど一部の国では、一定のインフレ沈静を受けて中央銀行が利下げに転じたことから、国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

為替市場では、多くの主要な先進国・新興国通貨に対する円安が進みました。日銀が緩和的な金融政策を続ける中、米国をはじめとした他の主要な先進国の中央銀行は引き締め的な政策を継続し、内外の金融政策格差が意識されたことが全般的な円安に繋がりました。日銀は、2023年7月金融政策決定会合において政策修正を実施し、事実上金融正常化への歩みを進めましたが、ハト派的なガイダンスは維持されたことから、会合後はむしろさらに円安が進みました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

純資産総額の3分の2程度は国際機関債マザーファンドを通じて「AAA格の国際機関債」に実質的に投資し、残りの3分の1程度は「AAA格の海外国債等」に直接投資しました。直接投資を行う国については、地域分散等の観点から期中に見直しを実施し、カナダからユーロ圏への入れ替えを実施しました。

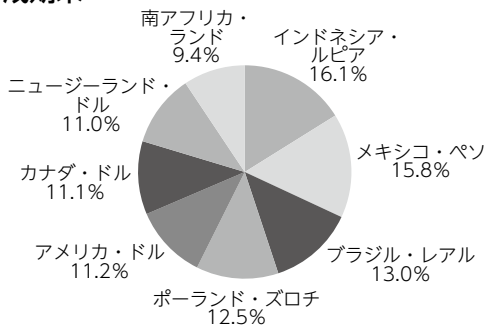
●国際機関債マザーファンド

期中に各国の利回りの水準、新興国通貨建て国際機関債の流動性、各国の経済ファンダメンタルズなどを考慮し、投資通貨の見直しを実施しました。従来から保有していたメキシコペソ、ブラジルレアル、インドネシアルピア、南アフリカランド、ポーランドズロチ建債券に加え、インドルピー建債券を新たに投資対象としました。

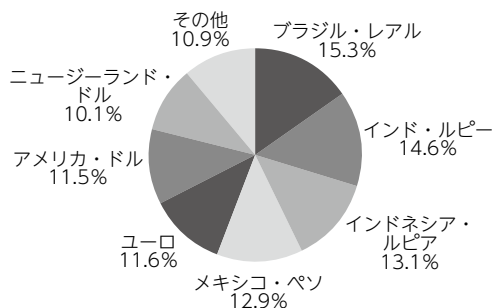
【運用状況】

○通貨別構成比

前作成期末



当作成期末



※比率は当ファンドが実質的に組入れている有価証券の評価額に対する割合です。

※当作成期末は上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期
	2023年3月21日 ~2023年4月19日	2023年4月20日 ~2023年5月19日	2023年5月20日 ~2023年6月19日	2023年6月20日 ~2023年7月19日	2023年7月20日 ~2023年8月21日	2023年8月22日 ~2023年9月19日
当期分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
対基準価額比率	0.26%	0.25%	0.24%	0.24%	0.24%	0.23%
当期の収益	10円	10円	10円	7円	10円	10円
当期の収益以外	-円	-円	-円	2円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	117円	118円	120円	118円	120円	122円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、純資産総額に対して国際機関債マザーファンドと直接組入れる国債等が概ね2：1となるよう運用を行い、投資国通貨の分散を行いながら中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。なお、直接組入れる国債等については、金利水準および市場流動性などから適宜見直しをはかる方針です。

●国際機関債マザーファンド

主として世界の主要な国際機関が発行する新興国通貨建て債券を組入れる方針です。金利水準および市場流動性などに鑑みながら組入対象については適宜見直しを計り、引き続き、中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第172期～第177期 (2023年3月21日 ～2023年9月19日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	30円	
(投信会社)	(14)	(0.357)	
(販売会社)	(14)	(0.357)	
(受託会社)	(1)	(0.027)	
(b) その他費用	1	0.012	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(0)	(0.010)	
(監査費用)	(0)	(0.001)	
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	31	0.753	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

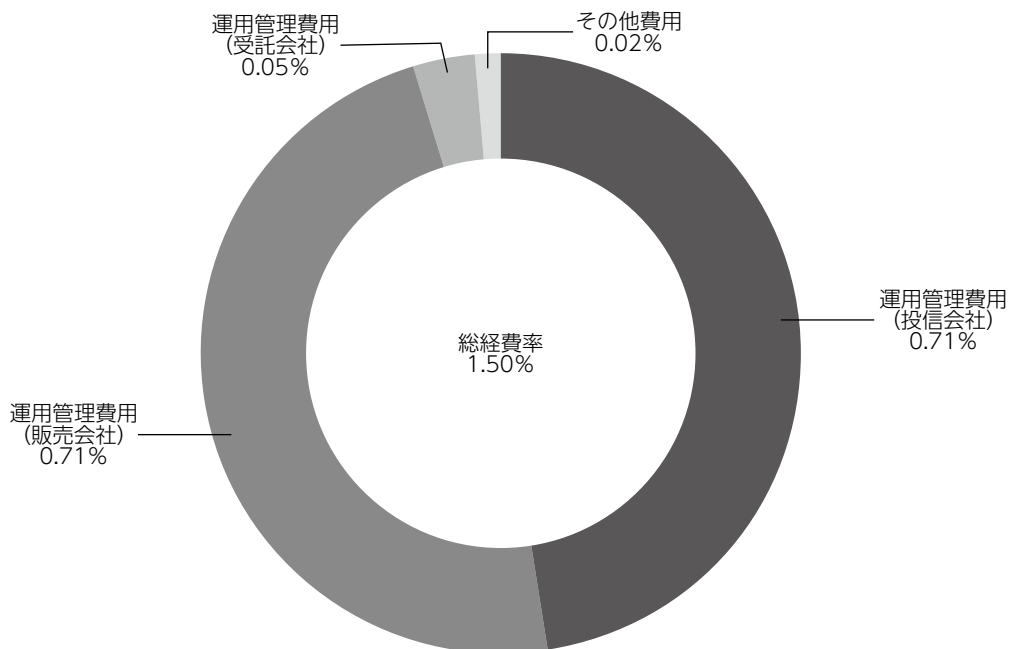
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2023年3月21日から2023年9月19日まで)

公社債

			第 172 期 ~ 第 177 期								
			買 付 額	売 付 額							
外	ア	メ	リ	カ	国 債 証 券	千アメリカ・ドル -	千アメリカ・ドル 96 (-)				
	カ	ナ	ダ		国 債 証 券	千カナダ・ドル -	千カナダ・ドル 4,523 (-)				
	ニ	ュ	ー	ジ	ー	ラ	ン	ド	国 債 証 券	千ニュージーランド・ドル -	千ニュージーランド・ドル 483 (-)
国	ユ		コ	ド	イ	ツ	国 債 証 券	千ユーロ 724	千ユーロ -	千ユーロ -	(-)
	コ		ド	イ	ツ	特 殊 債 券	2,342	(-)			

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2023年3月21日から2023年9月19日まで)

	第 172 期 ~ 第 177 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
国際機関債マザーファンド	千□ -	千円 -	千□ 201,066	千円 343,000

■利害関係人との取引状況等 (2023年3月21日から2023年9月19日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	第 30 作 成 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 3,390	千アメリカ・ドル 3,261	千円 481,880	% 11.1	% -	% -	% -	% 11.1
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド	千ニューージーランド・ドル 5,000	千ニューージーランド・ドル 4,836	千円 422,745	9.7	-	-	-	9.7
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ	千円					
国 際 機 関	2,500	2,354	371,854	8.6	-	-	-	8.6
ド イ ツ	730	720	113,730	2.6	-	-	-	2.6
合 計	-	-	千円 1,390,212	32.0	-	-	-	32.0

(注1) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、作成期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債銘柄別

銘 柄	第 30 作 成 期 末						償 還 年 月 日
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額			
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ)		%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円		
US T N/B 1.75 03/15/25	国 債 証 券	1.7500	1,490	1,415	209,146	2025/03/15	
US T N/B 0.375 04/15/24	国 債 証 券	0.3750	1,900	1,846	272,734	2024/04/15	
小 計	-	-	3,390	3,261	481,880	-	
(ニューージーランド)		%	千ニューージーランド・ドル	千ニューージーランド・ドル	千円		
NEW ZEALAND 0.5 05/15/24	国 債 証 券	0.5000	5,000	4,836	422,745	2024/05/15	
小 計	-	-	5,000	4,836	422,745	-	
(ユーロ…国際機関)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
ASIAN DEV BANK 0.35 07/16/25	特 殊 債 券	0.3500	2,500	2,354	371,854	2025/07/16	
小 計	-	-	2,500	2,354	371,854	-	
(ユーロ…ドイツ)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
BUNDESSCHAT 2.5 03/13/25	国 債 証 券	2.5000	730	720	113,730	2025/03/13	
小 計	-	-	730	720	113,730	-	
合 計	-	-	-	-	1,390,212	-	

(2) 親投資信託残高

	第29作成期末	第 30 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
国 際 機 関 債 マ ザ ー フ ァ ン ド	1,801,522	1,600,456	2,892,664

■投資信託財産の構成

2023年9月19日現在

項 目	第 30 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,390,212	% 31.8
国 際 機 関 債 マ ザ ー フ ァ ン ド	2,892,664	66.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	91,702	2.1
投 資 信 託 財 産 総 額	4,374,579	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 作成期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2023年9月19日現在、1,420,861千円、32.5%、国際機関債マザーファンドは2,913,780千円、99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年9月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=147.73円、1ニュージーランド・ドル=87.41円、1メキシコ・ペソ=8.624円、1インド・ルピー=1.79円、100インドネシア・ルピア=0.96円、1ブラジル・レアル=30.42円、1南アフリカ・ランド=7.77円、1ポーランド・ズロチ=34.029円、1ユーロ=157.91円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月19日)、(2023年5月19日)、(2023年6月19日)、(2023年7月19日)、(2023年8月21日)、(2023年9月19日)現在

項 目	第 172 期 末	第 173 期 末	第 174 期 末	第 175 期 末	第 176 期 末	第 177 期 末
(A) 資 産	4,228,626,939円	4,318,695,451円	4,442,247,692円	4,362,137,380円	4,370,058,297円	4,399,986,537円
コール・ローン等	63,568,283	46,499,404	74,225,342	49,960,068	43,344,607	38,150,867
公 社 債(評価額)	1,336,774,542	1,373,854,093	1,413,773,875	1,406,077,441	1,429,714,131	1,390,212,362
国 際 機 関 債 マザーファンド(評価額)	2,822,749,205	2,870,595,827	2,950,236,636	2,861,380,684	2,885,282,563	2,892,664,832
未 収 入 金	-	23,000,000	-	41,000,000	6,719,297	74,817,824
未 収 利 息	3,549,718	1,041,252	2,038,999	2,634,085	3,746,047	2,715,397
前 払 費 用	37,045	1,611,496	1,677,079	631,349	639,478	638,629
そ の 他 未 収 取 益	1,948,146	2,093,379	295,761	453,753	612,174	786,626
(B) 負 債	19,015,882	22,246,032	25,927,824	28,478,209	29,949,788	59,061,081
未 払 金	-	-	-	-	6,706,419	25,407,164
未 払 収 益 分 配 金	10,898,143	10,798,186	10,631,794	10,487,788	10,328,930	10,210,871
未 払 解 約 金	3,073,746	6,255,945	9,853,518	12,605,441	7,074,536	18,300,185
未 払 信 託 報 酬	5,031,745	5,179,290	5,429,297	5,371,904	5,825,722	5,130,370
そ の 他 未 払 費 用	12,248	12,611	13,215	13,076	14,181	12,491
(C) 純資産総額(A-B)	4,209,611,057	4,296,449,419	4,416,319,868	4,333,659,171	4,340,108,509	4,340,925,456
元 本	10,898,143,202	10,798,186,800	10,631,794,642	10,487,788,472	10,328,930,942	10,210,871,427
次 期 繰 越 損 益 金	△6,688,532,145	△6,501,737,381	△6,215,474,774	△6,154,129,301	△5,988,822,433	△5,869,945,971
(D) 受 益 権 総 口 数	10,898,143,202口	10,798,186,800口	10,631,794,642口	10,487,788,472口	10,328,930,942口	10,210,871,427口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,863円	3,979円	4,154円	4,132円	4,202円	4,251円

(注) 第171期末における元本額は10,937,461,871円、当作成期間(第172期~第177期)中における追加設定元本額は135,933,390円、同解約元本額は862,523,834円です。

■損益の状況

〔自 2023年3月21日 至 2023年4月19日〕〔自 2023年4月20日 至 2023年5月19日〕〔自 2023年5月20日 至 2023年6月19日〕〔自 2023年6月20日 至 2023年7月19日〕〔自 2023年7月20日 至 2023年8月21日〕〔自 2023年8月22日 至 2023年9月19日〕

項 目	第 172 期	第 173 期	第 174 期	第 175 期	第 176 期	第 177 期
(A) 配 当 等 収 益	1,768,222円	1,178,619円	1,113,151円	1,079,835円	1,190,101円	1,066,621円
受 取 利 息	1,629,012	1,036,797	965,245	925,026	1,036,582	895,717
そ の 他 収 益 金	139,618	144,375	150,128	156,769	156,688	172,673
支 払 利 息	△408	△2,553	△2,222	△1,960	△3,169	△1,769
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	168,687,790	140,046,515	201,006,621	△8,024,414	87,042,527	64,691,482
売 買 益	172,274,711	141,124,867	204,636,231	6,838,610	95,217,759	66,228,142
売 買 損	△3,586,921	△1,078,352	△3,629,610	△14,863,024	△8,175,232	△1,536,660
(C) 信 託 報 酬 等	△5,087,080	△5,219,620	△5,446,365	△5,459,312	△5,875,000	△5,142,861
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	165,368,932	136,005,514	196,673,407	△12,403,891	82,357,628	60,615,242
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△3,483,106,494	△3,284,319,953	△3,107,289,766	△2,876,425,025	△2,849,536,276	△2,738,690,797
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△3,359,896,440	△3,342,624,756	△3,294,226,621	△3,254,812,597	△3,211,314,855	△3,181,659,545
(配 当 等 相 当 額)	(120,220,116)	(119,156,344)	(117,356,944)	(115,793,612)	(114,066,907)	(112,803,412)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△3,480,116,556)	(△3,461,781,100)	(△3,411,583,565)	(△3,370,606,209)	(△3,325,381,762)	(△3,294,462,957)
(G) 合 計 (D+E+F)	△6,677,634,002	△6,490,939,195	△6,204,842,980	△6,143,641,513	△5,978,493,503	△5,859,735,100
(H) 収 益 分 配 金	△10,898,143	△10,798,186	△10,631,794	△10,487,788	△10,328,930	△10,210,871
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△6,688,532,145	△6,501,737,381	△6,215,474,774	△6,154,129,301	△5,988,822,433	△5,869,945,971
追 加 信 託 差 損 益 金	△3,359,896,440	△3,342,624,756	△3,294,226,621	△3,254,812,597	△3,211,314,855	△3,181,659,545
(配 当 等 相 当 額)	(120,225,413)	(119,184,201)	(117,362,513)	(115,803,902)	(114,079,493)	(112,815,557)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△3,480,121,853)	(△3,461,808,957)	(△3,411,589,134)	(△3,370,616,499)	(△3,325,394,348)	(△3,294,475,102)
分 配 準 備 積 立 金	7,680,075	9,256,081	11,262,821	8,160,127	10,833,559	12,093,437
繰 越 損 益 金	△3,336,315,780	△3,168,368,706	△2,932,510,974	△2,907,476,831	△2,788,341,137	△2,700,379,863

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 172 期	第 173 期	第 174 期	第 175 期	第 176 期	第 177 期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,279,562円	12,476,441円	12,790,373円	7,557,908円	13,142,469円	11,622,152円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	120,225,413	119,184,201	117,362,513	115,803,902	114,079,493	112,815,557
(d) 分 配 準 備 積 立 金	5,298,656	7,577,826	9,104,242	11,090,007	8,020,020	10,682,156
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	138,803,631	139,238,468	139,257,128	134,451,817	135,241,982	135,119,865
(f) 1万口当たり当期待対象額	127.36	128.95	130.98	128.20	130.94	132.33
(g) 分 配 金	10,898,143	10,798,186	10,631,794	10,487,788	10,328,930	10,210,871
(h) 1万口当たり分配金	10	10	10	10	10	10

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 172 期	第 173 期	第 174 期	第 175 期	第 176 期	第 177 期
1 万口当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

国際機関債マザーファンド

運用報告書

第15期（決算日 2023年9月19日）

（計算期間 2022年9月21日～2023年9月19日）

国際機関債マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2008年10月15日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	「国際機関債」を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資には、制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	円	騰落率			
11期(2019年9月19日)	13,539	20.9%	93.3%	—	百万円 4,603
12期(2020年9月23日)	12,101	△10.6	94.6	—	3,532
13期(2021年9月21日)	13,738	13.5	94.4	—	3,263
14期(2022年9月20日)	15,445	12.4	95.9	—	3,023
15期(2023年9月19日)	18,074	17.0	97.0	—	2,892

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

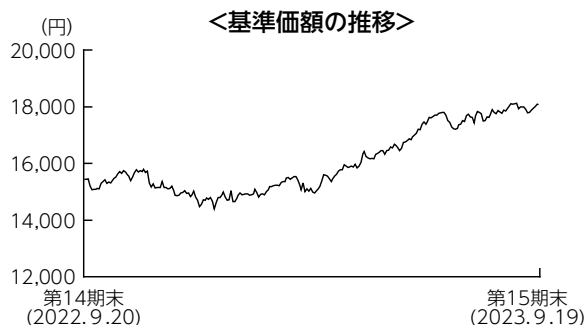
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債券組入比率	債券先物比率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2022年 9 月20日	円 15,445	% -	% -	% 95.9	% -
9 月 末	15,118	△2.1		95.7	-
10 月 末	15,674	1.5		95.8	-
11 月 末	15,200	△1.6		95.3	-
12 月 末	14,662	△5.1		94.7	-
2023年 1 月 末	14,920	△3.4		94.4	-
2 月 末	15,366	△0.5		98.1	-
3 月 末	15,595	1.0		97.7	-
4 月 末	16,036	3.8		97.4	-
5 月 末	16,570	7.3		97.0	-
6 月 末	17,770	15.1		97.3	-
7 月 末	17,671	14.4		96.9	-
8 月 末	18,124	17.3		96.4	-
(期 末) 2023年 9 月19日	18,074	17.0		97.0	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2022年9月21日から2023年9月19日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は18,074円となり、前期末比で17.0%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。内外の金融政策格差を背景に、主要な先進国・新興国通貨に対する円安が進んだことに加え、高金利通貨建債券の組入れによるインカム収益が基準価額の上昇要因となりました。

投資環境

債券市場では、多くの組入国の国債利回りが上昇（価格は下落）しました。多くの国で中央銀行の目標を上回る高いインフレ状況が続く中、タカ派的な金融政策姿勢が続いたことが主な要因となりました。一方、ブラジルやポーランドなど一部の国では、一定のインフレ沈静を受けて中央銀行が利下げに転じたことから、国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

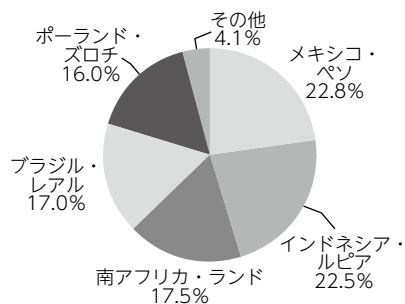
為替市場では、多くの主要な先進国・新興国通貨に対する円安が進みました。日銀が緩和的な金融政策を続ける中、米国をはじめとした他の主要な先進国の中央銀行は引き締め的な政策を継続し、内外の金融政策格差が意識されたことが全般的な円安に繋がりました。日銀は、2022年12月、2023年7月金融政策決定会合において政策修正を実施し、事実上金融正常化への歩みを進めましたが、ハト派的なガイダンスは維持されたことから、会合後はむしろさらに円安が進みました。

ポートフォリオについて

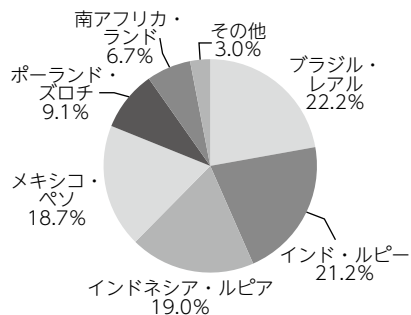
期中に各国の利回りの水準、新興国通貨建て国際機関債の流動性、各国の経済ファンダメンタルズなどを考慮し、投資通貨の見直しを実施しました。従来から保有していたメキシコペソ、ブラジルリアル、インドネシアルピア、南アフリカランド、ポーランドズロチ建債券に加え、インドルピー建債券を新たに投資対象としました。

【運用状況】

○通貨別構成比 期首（前期末）



期末



- ※ 1 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- ※ 2 現金等はその他として表示しています。

今後の運用方針

主として世界の主要な国際機関が発行する新興国通貨建て債券を組入れる方針です。金利水準および市場流動性などに鑑みながら組入対象については適宜見直しを計り、引き続き、中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) その他費用 (保管費用)	4円	0.022%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(その他)	(3)	(0.019)	
合 計	(0)	(0.003)	
期中の平均基準価額は16,053円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2022年9月21日から2023年9月19日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メ キ シ コ	特 殊 債 券	千メキシコ・ペソ 27,561	千メキシコ・ペソ 63,300 (-)
	イ ン ド	特 殊 債 券	千インド・ルピー 343,917	千インド・ルピー -
	イ ン ド ネ シ ア	特 殊 債 券	千インドネシア・ルピア 63,654,294	千インドネシア・ルピア 62,038,280 (15,000,000)
	ブ ラ ジ ル	特 殊 債 券	千ブラジル・リアル 8,198	千ブラジル・リアル 7,580 (-)
	南 ア フ リ カ	特 殊 債 券	千南アフリカ・ランド -	千南アフリカ・ランド 39,410 (-)
	ポ ー ラ ン ド	特 殊 債 券	千ポーランド・ズロチ 7,965	千ポーランド・ズロチ 16,902 (-)

(注1) 金額は受渡代金です (経過利子分は含まれておりません)。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年9月21日から2023年9月19日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メ キ シ コ	千メキシコ・ペソ 66,000	千メキシコ・ペソ 62,770	千円 541,364	% 18.7	% -	% -	% 1.8	% 16.9
イ ン ド	千インド・ルピー 350,000	千インド・ルピー 343,126	千円 614,196	21.2	-	-	9.0	12.2
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシア・ルピア 59,200,000	千インドネシア・ルピア 57,199,345	千円 549,113	19.0	-	-	19.0	-
ブ ラ ジ ル	千ブラジル・レアル 23,200	千ブラジル・レアル 21,088	千円 641,527	22.2	-	-	4.2	18.0
南 ア フ リ カ	千南アフリカ・ランド 25,300	千南アフリカ・ランド 25,039	千円 194,559	6.7	-	-	5.1	1.6
ポ ー ラ ン ド	千ポーランド・ズロチ 8,000	千ポーランド・ズロチ 7,757	千円 263,979	9.1	-	-	9.1	-
合 計	-	-	千円 2,804,740	97.0	-	-	48.2	48.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示
外国（外貨建）公社債銘柄別

銘柄	種 類	利 率	額 面 金 額	期 間		償 還 年 月 日
				評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(メキシコ)		%	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ	千円	
EIB 7.75 01/30/25	特 殊 債 券	7.7500	22,300	21,352	184,152	2025/01/30
EIB 4.25 06/19/24	特 殊 債 券	4.2500	17,500	16,711	144,126	2024/06/19
IFC 7.0 07/20/27	特 殊 債 券	7.0000	6,800	6,129	52,864	2027/07/20
IADB 7.5 12/05/24	特 殊 債 券	7.5000	19,400	18,577	160,221	2024/12/05
小 計	—	—	66,000	62,770	541,364	—
(インド)		%	千インド・ルピー	千インド・ルピー	千円	
IBRD 6.0 01/16/25	特 殊 債 券	6.0000	36,000	35,419	63,401	2025/01/16
EBRD 5.15 02/16/24	特 殊 債 券	5.1500	54,000	53,551	95,857	2024/02/16
IBRD 6.75 09/08/27	特 殊 債 券	6.7500	50,000	48,383	86,606	2027/09/08
ASIAN DEV BANK 6.2 10/06/26	特 殊 債 券	6.2000	100,000	97,075	173,764	2026/10/06
IFC 6.3 11/25/24	特 殊 債 券	6.3000	110,000	108,696	194,566	2024/11/25
小 計	—	—	350,000	343,126	614,196	—
(インドネシア)		%	千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア	千円	
IBRD 4.6 02/09/26	特 殊 債 券	4.6000	41,200,000	39,772,555	381,816	2026/02/09
EBRD 4.6 12/09/25	特 殊 債 券	4.6000	18,000,000	17,426,790	167,297	2025/12/09
小 計	—	—	59,200,000	57,199,345	549,113	—
(ブラジル)		%	千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル	千円	
IBRD 5.0 01/22/26	特 殊 債 券	5.0000	1,000	920	27,991	2026/01/22
IBRD 6.75 02/04/24	特 殊 債 券	6.7500	2,300	2,274	69,180	2024/02/04
IFC 10.0 02/03/27	特 殊 債 券	10.0000	3,000	3,038	92,444	2027/02/03
EIB 06/12/25	特 殊 債 券	0.0000	11,900	10,254	311,938	2025/06/12
IFC 4.25 07/16/25	特 殊 債 券	4.2500	5,000	4,601	139,972	2025/07/16
小 計	—	—	23,200	21,088	641,527	—
(南アフリカ)		%	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド	千円	
EIB 8.5 09/17/24	特 殊 債 券	8.5000	6,000	6,000	46,622	2024/09/17
EIB 8.125 12/21/26	特 殊 債 券	8.1250	19,300	19,039	147,936	2026/12/21
小 計	—	—	25,300	25,039	194,559	—
(ポーランド)		%	千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ	千円	
ASIAN DEV BANK 5.5 02/03/26	特 殊 債 券	5.5000	6,000	5,960	202,832	2026/02/03
EBRD 0.87 03/04/26	特 殊 債 券	0.8700	2,000	1,796	61,147	2026/03/04
小 計	—	—	8,000	7,757	263,979	—
合 計	—	—	—	—	2,804,740	—

■投資信託財産の構成

2023年9月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	2,804,740	96.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	111,954	3.8
投 資 信 託 財 産 総 額	2,916,694	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2,913,780千円、99.9％です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年9月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=147.73円、1メキシコ・ペソ=8.624円、1インド・ルピー=1.79円、100インドネシア・ルピア=0.96円、1ブラジル・レアル=30.42円、1南アフリカ・ランド=7.77円、1ポーランド・ズロチ=34.029円、1ユーロ=157.91円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年9月19日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,940,814,529円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	31,021,196
公 社 債(評価額)	2,804,740,447
未 収 入 金	24,123,140
未 収 利 息	67,469,182
前 払 費 用	13,460,564
(B) 負 債	48,140,600
未 払 金	24,140,600
未 払 解 約 金	24,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,892,673,929
元 本	1,600,456,364
次 期 繰 越 損 益 金	1,292,217,565
(D) 受 益 権 総 口 数	1,600,456,364口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,074円

(注1) 期首元本額 1,957,320,554円
追加設定元本額 0円
一部解約元本額 356,864,190円

(注2) 期末における元本の内訳
D I A M高格付外債ファンド 1,600,456,364円
期末元本合計 1,600,456,364円

■損益の状況

当期 自2022年9月21日 至2023年9月19日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	158,086,835円
受 取 利 息	158,088,366
支 払 利 息	△1,531
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	293,214,473
売 買 益	412,234,743
売 買 損	△119,020,270
(C) そ の 他 費 用	△645,699
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	450,655,609
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,065,697,766
(F) 解 約 差 損 益 金	△224,135,810
(G) 合 計(D+E+F)	1,292,217,565
次 期 繰 越 損 益 金(G)	1,292,217,565

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。